

北河原小保護者意見交換会 会議録

- 1 開催日時 令和2年2月18日（火）午後2時45分～3時30分
- 2 開催場所 北河原小会議室
- 3 出席者 保護者17人、北河原小校長・教頭・教職員
- 4 教育委員会 諸貫教育総務課長、白井主幹、久積、嶋田、柏瀬
- 5 会議内容

| 発 言 者 | 会議の経過（議題・発言内容・結論等） |
|--------|--|
| 教育総務課長 | <p>1 再編成に関する説明</p> <p>見沼中学校区の再編成について情報提供をする。皆様には、「温故創生」、「北河原地区の通学区域についての資料」、「小中一貫教育の実態調査結果」をお配りした。</p> <p>はじめに、小中一貫教育の実態調査結果を見てほしい。この調査は、すでに小中一貫教育を行っている学校を対象に、国が実施したものであり、成果が掲載されている。細かく説明はしないが、施設が小学校中学校で一体だと成果が表れているのが分かる。詳しい内容は、家に持ち帰って見ていただきたい。また、小中一貫教育の具体的な取り組みについては、皆さんにお知らせしていきたい。</p> <p>続いて、温故創生を見ていただきたい。北河原小学校、荒木小学校、須加小学校、見沼中学校を再編成し、令和4年4月に義務教育学校を開校することを目指して現在手続きを進めている。2号出しており、1号では新たな学校の設置に向けて、開校準備委員会や各専門部会がスタートを切ったということをお知らせし、2号では進捗状況をお知らせしている。1番上には「重要」ということで、施設について記載している。以前説明していた内容と変更があった。再編成により、見沼中学校の教室が不足するという見込みであったが、特別教室を色々な用途に使えるように校舎の中を直していくことで、小学生も現在の見沼中に収容できることが見込まれた。現在は、今ある校舎をきちんと直し、9年間子供たちが不自由なく学校生活を送れるような改修を行っていくことを考えている。配置については、学校の先生や保護者の意見を伺いながら進めていこうと思う。</p> <p>ページの下段から、各専門部会の進捗状況をお知らせしている。学校運営部会では、校名について協議を行っており、現在校名の募集を行っている。子どもを通じて、募集チラシを見たと思う。これから校名の他に、校章、校歌についても決めていく。</p> <p>裏面は、通学部会とPTA部会についてである。通学部会では、スクールバスについて検討している。範囲やルート、バス停の位置などを協議している。</p> |

| | |
|-----|--|
| 保護者 | <p>続いて、PTA部会についてである。現在は、各学校でPTAが設置されている。一つの学校になるということで、PTAの組織や活動などをまとめている。北河原小では、PTAの役員を担っていただくのに負担があると聞いている。再編することで、PTAの保護者の負担を緩和できるのではないかと思う。また、ジャージについても検討している。それぞれの学校でジャージがあるが、これから新しいものをつくっていくという方針になっている。販売する時期を早めてほしいとの声もあったが、新しいものと現行のものが混在するので、基本的には、令和4年4月から着られるように準備をするという方向になった。</p> <p>前回、夏ごろ保護者との意見交換会を実施したが、通学区域について関心があったと思う。通学部会では、北河原地区の小学生はスクールバスを利用していただこうと考えている。最初の1年目でどこに停留所を置くかを考えていかないといけないが、児童がどこに住んでいるか毎年若干変わってくるので、毎年見直していく必要があると思う。それと、今まで質問をいただいている中で、現在、南河原中が許容地域ということで、北河原小を卒業した児童は、本来の通学区域は見沼中だが、南河原中への通学を認めている。この状況は、何も手立てがない中で、北河原小を卒業する子どもについては許容していく必要があると思う。見沼中に通うとなると、北河原地区のお子さんと最長で7キロメートルから8キロメートルとなる。中学校の通学距離の範囲は、基本的には6キロメートルとされている。あまりに遠いところから通っていただくのは、危険であると認識している。そこで、通学部会でも中学生がスクールバスに乗ることについて提案をいただいている。バスの台数や便数なども考慮しないといけないが、あまりに遠いところから来る中学生がスクールバスを利用することについて、通学部会でも投げかけていきたい。その上で、北河原地区の児童の中学校への進学先を考えていただきたい。中学生のスクールバスの利用は、早くても令和4年の段階からと考えている。それまでは、スクールバスを手配することはできないので、無理に見沼中に行ってくださいとは言えない。令和4年以降は、安全面でクリアできれば南河原中への許容をなくし、見沼中へ通っていただきたいという思いが教育委員会にはある。それでも、家庭の事情がある場合には相談に乗っていきたい。このことについて、皆さんから率直な意見を聞き、部会に持ち帰って話し合いを続けていきたい。</p> <p>2 意見等</p> <p>現在、特別支援学級で見沼中に行っている生徒は、自転車で通学しているのか。</p> |
|-----|--|

| | |
|--------|--|
| 教育総務課長 | 調べさせていただく。 |
| 保護者 | 先ほどの説明で、中学生はスクールバスに乗せてもらえるかもしれないと理解しているのだが、もし自転車で通学することになった場合は、特別支援学級の子どもは配慮していただけるのか。 |
| 教育総務課長 | 個別に相談に乗る。現在は、スクールバスはないので、保護者に送ってもらっているのかどうか確認する。 |
| 保護者 | 令和4年4月から、現・見沼中に通学区域を統一することを検討し、それ以外の中学校に通う際は個別に対応するという話だった。スクールバスを出せば遠くても安全が確保できるので、再編成後の学校に行ってほしいということだが、スクールバスが出ないと想定される北河原小の区域において、見沼中への通学路を通学する時間に通学する手段で教育委員会は調査し、安全か危険かを把握しているのか。例えば通学距離が5キロなら安全なのか。 |
| 教育総務課長 | 距離だけでなく、経路についても考慮しないといけないと思う。県道があり、車の通りも激しいのも分かる。 |
| 保護者 | バスに乗れない子が通っている通学路を、教育委員会は把握しているのか、していないのか。しているのであれば、危険個所がどこなのか。通学部会では把握していないという話だったのに、どうして安全だとか危険だとかで、通学区域を統一するという話を言えるのか。 |
| 教育総務課長 | 安全を確保する一つ的手段として、自転車よりバスに乗っていただくことを提案できるのかなと思う。 |
| 保護者 | 私が言いたいのは、そういうことではない。バスに全員乗れる訳ではないではないか。 |
| 教育総務課長 | どんな希望があるかを聞いていく必要があると思っている。 |
| 保護者 | 明らかに南河原中に行った方が近い。通学部会では、通学距離6キロメートル以下のところは、自転車で通ってもらおうと言っていた。バスを出せば赤字だとも言っていた。会議でみんなが言っていた。この事業自体赤字だとも。到底、全員をバスに乗せてもらえるとは思っていない。見沼中から通学距離6キロメートル付近の家では、明らかに南河原中に |

| | |
|--------|--|
| 教育総務課長 | <p>通う方が近い。そういう状況で、見沼中に通学区域を統一するとし、見沼中以外の学校に通う場合は個別の対応と言う。それなら、今まで通りでいいのではないか。今までは地域的事情で配慮されていたのに、令和4年の新校が設置されると区域外通学を認めないのか。</p> <p>一つの案として、中学生のスクールバスの利用が可能であるならば通学区域を統一するという事を申し上げた。このことについては、決定ではない。一つの地域で別々になることなく一つの学校に行っていた方がよりよいのではないかと思ったからである。</p> |
| 保護者 | <p>何を根拠によいと言えるのか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>平成21年から許容地域となっているが、北河原地区のどの地域がどの学校を選択しているのか確認した。男女で違いがあると思うが、保護者の判断で通う中学校を選択しているようである。そのことを加味した上で通学区域を決めていく必要がある。まだ、通学区域を統一することは決定していない。保護者の皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。</p> |
| 保護者 | <p>上の子が中学1年生で、南河原中に通っている。下の子は再編成したときには5年生で、見沼の義務教育学校に通うことになる。中学生になったときに、自転車で見沼まで通うということになると、30分ほどかかる。上の子は、現在、徒歩10分で南河原中に通っている。この差は明らかであり、子どもも近い方がいいと言っている。部活動が始まって、体力を付けたいから長距離の通学を選択する子もいるかもしれないが、親はすぐに行ける距離の方が理想的である。</p> <p>令和4年度から見沼中学校区に統一し、見沼中以外に通う場合は個別に対応することを検討しているということだが、個別の対応とは具体的にどのような場合か。</p> |
| 教育総務課長 | <p>上の子と下の子が別々の学校に行くことは望ましくないので、加味していきたい。他には個別に事情を聞きながら対応していきたい。</p> |
| 保護者 | <p>南河原中に行くための具体的なパターンを示していただけないことか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>皆さんの意見を聞いて、加味しないといけない事情を把握して考えていきたい。逆にパターンを示して、そうではない事情の場合は該当しな</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>いとなるとだめだと思う。</p> <p>気になっているのが、再編成したときに場合によっては南河原小に行かせたいという保護者もいるのではないかと思う。今のところは、南河原小へのスクールバスの運行は検討していない。小学生の通学で自転車は安全性の問題から認めていない。徒歩で南河原小に通うことについて、どう思うか。スクールバスを利用できる見沼の義務教育学校に行ってもらう方が、安全面の上でいいのではないかと思っている。家庭によって、南河原小への通学距離が違うので、考え方も異なると思うが。</p> |
| 保護者 | <p>自分の家は、南河原小に通うにしても北河原小に通うにしても同じくらいの通学距離である。そういう場合は、希望すれば南河原小に就学することは可能なのか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>現在は、その点については全く決まっていない。今は、北河原地区の児童が通う見沼中学校区の義務教育学校をつくっていくということとしている。</p> |
| 保護者 | <p>中学校に行く場合も、南河原中に行く方が近いからという理由で南河原中に就学することを認めてくれるのか。</p> |
| 教育総務課長 | <p>それについては、これから考えていかなければいけないことだ。</p> |
| 保護者 | <p>それについては、ちゃんと示してほしいと思う。</p> |
| 教育総務課長 | <p>再編を前にして、南河原中への就学を認めないことはしない。現在は、新しい学校ができて、スクールバスに乗って見沼の義務教育学校に行っていただくということを検討している。それ以外の手立てを示すことができないので、保護者の皆さんはどうするかと投げかけている。できれば、地区として「私たちの学校はここである」とそろっていた方がいいのではないかと思うが、保護者の皆さんにはそのような認識はないか。地域としてどう思っているのか、気になる。やはり、通う学校が近い方が保護者としては安心か。</p> |
| 保護者 | <p>その通りである。</p> |
| 保護者 | <p>現在、子どもが4年生で令和4年度には中学1年生になる。見沼中に通うに当たって、一番通学距離が遠いのがうちだと思う。スクールバスが出れば、見沼の義務教育学校に通ってもいいのかなと思うが、例えば</p> |

| | |
|---------------|--|
| <p>教育総務課長</p> | <p>夏休みや冬休みに部活動で学校に行くときに、スクールバスを出してくれるのか。主人は見沼中に通っていたと言っていたが、雷の時や風が強い日もあり通うのが大変だったと思う。畑にも落ちたと聞いている。自転車で通うことになると、本当に心配である。そういったことも配慮してほしい。正直な気持ちとしては、自転車で南河原中に行かせたいし、娘は実際に南河原中に行っている。</p> <p>スクールバスに乗っていただくことができれば、保護者も安心なのではないかと思う。子供たちの安全が第一である。財政面だけで実施しないとなると保護者は納得できないと思う。中学生がスクールバスに乗る場合は、部活動のことを考えて早便にするのかとか、夏休みにどのように運行させるのかとかを全体を含めて考えていかないといけないと思っている。</p> |
| <p>保護者</p> | <p>現在、自分の子どもが小学2年生だが、再編成を待たずして南河原小に転校をさせれば、南河原中に行けると思う。そういった希望を伝えれば、教育委員会は認めてくれるのか。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>現在、北河原小の児童数が少ないので再編成していこうとしている。皆さんが、そのように考えて転校するということになれば、学校自体が自然になくなってしまいうということもありえる。</p> |
| <p>保護者</p> | <p>学校はそうかもしれないが、6年間、3年間通う子どものことを考えたときに、親としては安心して、安全で負担なく、学べる環境を提供していただきたい。そう思う中で、何がベストかを考えたときに、私が言った選択肢は出てくるのではないかと思う。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>意見を聞いて、考えていくしかないのかなと思う。</p> |
| <p>保護者</p> | <p>再編成に巻き込まれる前に、学校を変えてしまうという考えもあると思う。</p> |
| <p>教育総務課長</p> | <p>それぞれの家庭によっていろいろな事情があるので、さまざまな意見があると思う。</p> |
| <p>保護者</p> | <p>確認させてほしい。今日の話は、再編成したときに、北河原小の児童が見沼中学校の校舎で学ぶことを示しているのではないかと思う。そして、中学校に上がる段階で、進学する中学校の希望を伺うと教育総務</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>課は話していると思う。一方で、保護者は小学生の段階で南河原小に転校させてしまうという話をしているように思う。そうすれば、南河原小、南河原中に行けるのではないかと認識しているのではないか。それはどうなのかと保護者は聞いている。それに対して教育総務課は、中学校から南河原中に就学することは可能だと答える。話が理解できない。南河原小に行かせるという問いに対して、中学校から選択してほしいというのは回答になっていない。北河原小がなくなってしまうというが、なくなれないと思う。再編成前に南河原小を選択するのであれば、北河原小は人数が減るとするのが正しいと思う。「近くの学校に行かせたい」、「安全を確保したい」というのが親の意見だ。主人の弟は、見沼中に通っている最中に、田んぼに落ちて骨折した。その話を聞くと、すごく遠いし大変だと感じている。中学生をバスに乗せると赤字だという話も出る。では、どういう選択をすればベストか考えてみたが、それはこれから検討すると教育委員会は答える。どこを焦点に議論して、子どもを安全に通わせるかを考えたときに、家が近いからという理由で今の段階で南河原小に通わせて、子どもを馴染ませて、中学校まで楽しい学生時代を過ごさせたいと考えている親もいるし、親の母校で、見沼中が学区だからという理由で見沼中に通わせたいという親もいると思う。個々の家庭の事情により、選択させるのも一つの方法であると考え。親の判断に任せるのであれば、教育総務課としても楽だし、親の責任で子どもを通わせているのだから文句を言う必要もない。北河原地区内で子どもが通う学校が分かれてしまうのは悲しいが、どういう風にしたらよいかを親も考えてもらい、教育総務課も固く考えないで自由に選択することを検討してほしい。私は見沼中に通わせたいが、子どもが南河原中に行く子がいるから南河原中に行きたいと言えれば考えないといけない。</p> |
| 教育総務課長 | <p>今は北河原小にいる児童は、見沼の義務教育学校に行くことを想定していたが、再編成を機に通う小学校を南河原小に行かせたい保護者もいると理解してよいか。</p> |
| 保護者 | <p>保護者の意見を聞くと、そのように考えている保護者もいるのではないかと思う。1年でも2年でも早く南河原小の児童と合流させてしまえば、友人関係も築きやすいのではないかと思う。</p> <p>荒木小や須加小と一緒になったときに、例えば運動会するときなどで荒木や須加の保護者が盛り上がっている姿を想像すると、引いてしまうかもしれない。子どもも「ついていけない」と思ってしまうかもしれない。そう考えると、少しでも馴染んでもらってついていけるように、良いところを引き出してほしいと思う。</p> |

| | |
|--------|---|
| 主幹 | 質問したいのだが、違う学校に行くことで、一つの地域が分かれてしまう現象について、保護者はどのように考えているか。 |
| 保護者 | なぜ、子どもがそれぞれ違う学校に行くことで地域が割れてしまうのか。その理論が理解できない。 |
| 教育総務課長 | 通う学校が分かれることで、地域が割れることはないという意識ということか。 |
| 保護者 | 子どもが通う学校が異なることで、なぜ地域が分かれてしまうのか。 |
| 教育総務課長 | 他の地域で、同一の自治会で学区が分かれているところがある。そういった地域からは、子どもを含めた地域の活動ができなくなっているという話が出ている。保護者が、地域の活動ではなく、子どもの安全を優先するという気持ちは分かる。今までは、北河原小の運動会は地域の方と合同で行っている。再編に伴い北河原小の学校機能がなくなってしまったときに、地域内で、ましてや隣近所の子ども同士でバラバラの学校に通うことになるということを想像してほしい。 |
| 保護者 | 学校の運動会と地域の運動会を合同で行っているのは、子どもの人数が少ないからか。 |
| 教育総務課長 | 学校の運動会と地域の運動会を合同で行っているのは、北河原地区のみである。なぜ、このように行っているのかは詳しい事情は把握していない。再編成後に、地区の運動会は単独で行うということであれば、地域で子供たちが通う学校が異なっても問題ないが。 |
| 主幹 | 運動会の他に、地域と学校で連携して行う事業もあるかと思う。地域内で子供たちが異なる学校に通うことになる、1つの地域でそれぞれの学校に対して連携していくことになる。 |
| 教育総務課長 | P T A組織についてもそうだが、学校によっては、学校と地域をつなぐ役目を果たしているところもある。そういった観点では、影響が出るのではないかと思う。 |
| 保護者 | 自分の子どもは南河原中に通っているが、地域が分かれるといったことは起きていないと思う。 |

| | |
|--------|--|
| 主幹 | 中学校より、小学校が分かれる方が、影響が出やすいのではないかと 思う。 |
| 教育総務課長 | 保護者やその上の世代を含めて、学校に対して協力をしていただい ていると思う。 |
| 保護者 | 正直、地区のことまで考えていなかった。子供たちの通う学校に付随 して、地域があると思っていた。 |
| 教育総務課長 | 地域の方は、保護者世代や子供たちのことを考えている。保護者には、 地区でどんな活動をやっている、学校とどう絡んでいるのかを考えてい ただきたいと思う。 |
| 保護者 | 保護者世代より上の方が、学校の再編成に対して話をいただくのは結 構だが、「いやだ」とか「無理だ」とかという話でこれまで学校の統廃合 の話が流れてきたと認識している。重要なのは、誰のことを考えて話を 進めていくのかということだ。実際に、子どもを学校に通わせているの は私たち親世代である。確かに、地域の方の協力がなければ学校運営が 成り立たないことは十分承知しているが、何を一番理解していただきた いのか考えてほしい。 |
| 教育総務課長 | こちらも、皆さんの意見を聞いて考えていく。皆さんも祖父母世代の 方と話し合ってもらいたい。皆さんの子どもが巣立って、祖父母世代にな ったときに、どういう風になるか想像してほしい。 |
| 保護者 | 見沼中に行っていた私の主人から、風が強い日に田んぼに落ちたと か、雨が降ったときにレインコートを着て通学するのに途中で行きたく なくなったという話を聞いていた。遠い見沼中の方まで自転車で40分 かけて通うのか、部活で朝早く行ったり、夜遅くに帰ったりするのにバ スをどうするのかという議論を行うのであれば、私としては、今まで通 り選択肢を与えてほしいと思う。やはり、保護者は自分の子どもの安全 面を一番に考えている。個別に対応すると言っても、具体的に示されて いない状況なので、選択肢があってもいいのではないかと思う。検討をし てほしい。 |
| 保護者 | うちの子は、今現在、見沼中に通っている。北河原小は自宅からすぐ 近くにある。見沼中まで行くのに、実走で7.4キロメートルある。さ らに遠い方は9キロメートルや10キロメートルになる方もいると思 |

| | |
|--|--|
| | <p>う。中学校に入学して6日後に、畑に落ちないようにする柵に、ダンプカーが通った後の強風ではまり、自転車が大破したこともあった。実際に車の通りは激しい。北河原地区から南河原中に通っているのは10年前からいたことは知っている。このような議論を行うのであれば、町名で行ける学校を分けるとか、学校を選べるといったことを最初から取り入れなければよかったと思う。令和4年度から中学校を選択できず、中学校は見沼中学校区の義務教育学校に行ってもらおうというのではなく、そもそも10年前から南河原中に行くことを認めなければよかったと思う。保護者の意向を十分考慮していただいて、選択できる形が納得いくのではないかと思います。</p> <p>3 閉会</p> |
|--|--|